

日本基督教団 関東教区

第24回「女性と男性が共に宣教を担うための地区連絡会議」

# 子どもたちを取りまく暴力を考える・IV

## － 子どもへの暴力防止（CAP）プログラムを体験するII －

女性と男性が共に宣教を担うための地区連絡会議では、教会におけるセクシュアル・ハラスメントを取り上げてきました。この数年は、子どもたちを取り巻く暴力について学び、わたしたちの社会の最も弱い者に向けられる暴力の現実を知らされました。昨年は具体的にCAP（Child Assault Prevention＝子どもへの暴力防止）のプログラムを体験するワークショップを新潟教会を会場に行いました。CAPのワークショップを通して、何が暴力となってわたしたちの心と体を傷つけ、生きる力を奪うのかへの気づきが与えられるとともに、弱くされている人、子どもたちや女性たちを力づけるために、何が出来るのかを学ぶことができました。今年も、大宮教会を会場にCAPのプログラムを体験するワークショップを行います。乳幼児の保育に携わっておられる方、教会学校やCSのスタッフとして奉仕しておられる方、また子どもたちと関わる機会が多い方々にも、貴重な研修の時となる事と思います。みなさまのご参加をお待ちしています。

関東教区「女性と男性が共に宣教を担うための地区連絡会議」実行委員会  
実行委員 新潟地区 玉置千鶴子、田中暁美（長岡教会）  
栃木地区 羽島載憲（足利東教会）、藤 知佳（四條町教会）  
茨城地区 橘 秀紀（水戸教会）、  
埼玉地区 後藤龍男（和戸教会）／群馬地区

記

日 時：2017年7月25日（火）午後1時～3時（12:30受付）

場 所：日本基督教団 大宮教会

（〒330-0844 埼玉県さいたま市大宮区下町3-39 TEL 048-641-6148）

ワークショップ：「自分も相手も大切にするコミュニケーション」

ワークショップ指導：CAP くれよん

※CAPとは

Child Assault Prevention（子どもへの暴力防止）の頭文字をとったもので、いじめ・虐待・痴漢・誘拐といったさまざまな暴力に対して何が出来るかを、子ども、保護者、教職員、地域の人々に伝えるプログラムです。

CAPは1978年にアメリカ・オハイオ州コロンバス市のレイプ救援センターで作られ、1985年に森田ゆりさんによって日本に紹介されました。その後1995年頃から日本各地で実施されるようになりました。

「CAPくれよん」は、子どもたちが安心して暮らせる社会の実現を願って、おもに埼玉県中央地域・西部地域を中心に活動しています（「CAPくれよん」HPより）。

参加費：1,000円（旅費プールを含む） ※出来るだけ教会で負担頂けると幸いです。

交通費補助について：

6,000円以上は、申請に基づき、5,000円を上限として補助いたします。

プログラム：12:30 受付

13:00 開会祈祷・オリエンテーション

13:10～15:00 ワークショップ

15:00 閉会祈祷

申し込み先：地区連絡会議実行委員会 藤 知佳まで

〒380-0861 宇都宮市西3丁目5-11

**Tel 028-634-6702 Fax 028-634-0315**

申し込み締め切り：2017年7月18日（火）

※下記参加申込用紙に参加者を明記し、FAX（028-634-0315）または郵送でお申し込み下さい。

関東教区「女性と男性が共に宣教を担うための地区連絡会議」申し込み用紙

\_\_\_\_\_ 教会・伝道所／個人

お名前	ご住所	電話番号